

2023

1

No.328

「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

ふくし“きらり人。”
任命しました！



“きらり人。” 阿久津 俊さん

Contents

2 3

会長年頭あいさつ

4 5

第 27 回
「いばらきねりんスポーツ大会」
を開催しました。
第 34 回 全国健康福祉祭
神奈川・横浜・川崎・相模原大会

6 7

地域福祉活動レポート
しもつま外国人支援ネットワーク
TOMODACHI
代表 小笠原 紀子 さん

8 9

ふくし“きらり人。”
社会福祉法人東海村社会福祉協議会
阿久津 俊 さん

11

インフォメーション
社会福祉事業従事者研修のご案内
令和 4 年度福祉サービス苦情解決
研修会開催のお知らせ

12

わかち合おうみんなの善意



はんどちゃんの紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活躍しています。

この広報誌は一部赤い羽根共同募金の配分を受けています。



社会福祉
法人

ふれあいネットワーク

茨城県社会福祉協議会

新年挨拶



会長 竹之内 章代

新年明けましておめでとうございます。

日頃より、茨城県社会福祉協議会の活動に深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、社会経済に大きな影響を及ぼし、私たちの暮らしのあり方も変化を余儀なくされてきました。それは、人と人とのつながりをも変化させ、外出や対面での活動の制限が解かれた現在においても、以前のあり方とは異なっています。私たち社会福祉協議会は、これまで人びとの暮らしを支え・支え合う関係を地域の住民とともに築いてまいりましたが、コロナ禍での変化はそのありようも大きく変えるものとなっています。さらに、社会福祉関係施設や事業所で暮らす人びとの暮らしも変化し、それを支える福祉従事者や施設での働き方も変化してきました。

このような感染症に係る変化は地域で暮らす住民相互のつながりの希薄化や、社会的孤立、さらには経済的困窮をもたらし、これまでも課題であった貧困問題や格差の問題、少子高齢化における人材の確保などの地域生活課題、そして、ヤングケアラーの支援についても喫緊の課題となっております。また、毎年のように自然災害が各地でおこり、日頃からの災害や防災の対応が重要とされてきています。

国の進める「地域共生社会」の実現のためには、これらの課題を行政や福祉関係者だけでなく、地域で暮らす人びとが手を取り合って「我が事」として取り組む事も重要です。それには、コロナ禍で変化したつながりを再び結び直すことが必要です。そのための地域づくりの架け橋となれるよう社会福祉協議会としての立ち位置をしっかりと見据えていきたいと考えております。

このような問題意識の下、次に述べるいくつかの点について、県社会福祉協議会としての活動を推進してまいりたいと思います。

まずは、人材育成・確保の課題です。少子高齢化の波は福祉人材確保にも影響が大きく、福祉人材の量的・質的な確保は喫急の課題です。量的な確保もさることながら、福祉サービス利用者にとって最善の利益となるよう良質で最適なサービスを届けるためには、人材の質の確保も重要です。社会福祉協議会では、福祉人材センターなどを通じた人材の確保と各種研修の提供による質の確保にも引き続き尽力してまいります。

次に、社会福祉法の改正によりその役割が明記された社会福祉法人の公益事業へのかかわりについても、社会福祉協議会として施設運営・経営者との協議・連携の下、地域に根ざした公益事業の立ち上げについても対応していきたいと考えています。そのための啓発や実施のための学びの確保など、できることから一つひとつ取りくんでまいります。

さらに、県の社会福祉協議会としての役割を自覚しながら、市町村社会福祉協議会との意見交換を活発にし、役割分担を明確にしながら、県社協として協力できることを提供し、身近な地域での活動基盤の整備を市町村社協を中心に進めていけるようバックアップできる体制作りを目指します。そこでは、防災対策、権利擁護支援としての後見事業や中核機関への協力、重層的相談支援体制の整備のための相談機能の強化、地域住民を中心とした地域活動の活性化など、その守備範囲は広範にわたります。それらを支える社協職員の専門性の確保と専門性の向上も大きな課題となるでしょう。地域のニーズに応えるべく、専門性の強化を図っていけるよう努力いたします。

これらの活動は、私たちだけでは到底なしえることはできません。地域の皆様、関係機関の皆様、県をはじめ行政の方々との有機的な連携と支援の下、実現出来るものと考えております。これらの活動が少しずつでも現実化していくことで、茨城県総合計画の基本理念である「活力があり、県民が日本一幸せな県」となり、「いばらき幸福度指標」のアップが実現できるのではないのでしょうか。今後も、県民の皆様が安心して暮らせるよう、福祉課題や、地域生活課題の解決に皆様の協力・連携の下、取り組んでまいります。今後とも、皆様方の力強いご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。この一年が、県民の皆様にとって、素晴らしいものとなるようご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



第27回茨城健康福祉祭「いばらきねんりんスポーツ大会」を開催しました

新型コロナウイルス感染拡大の影響により2年続けて中止していた大会を、令和4年10月13日（木）、笠松運動公園において3年ぶりに開催しました。

この大会は高齢者に適したスポーツを通じて健康の保持増進を図るとともに、地域間の交流を深め、明るく活力のある長寿社会の推進に寄与することを目的に開催しています。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、過去14日以内の健康状態チェック表の提出を求めるとともに、当日の体温測定や手指消毒の徹底を図り開催したもので、各市町村から選ばれた選手や市町村社協職員、来賓等約1,100人の参加を得て、クロッケー、ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフ、ワナゲの5種目を実施しました。

当日は、開会式終了後に断続的に雨が降りましたが、その雨にも負けずに熱い戦いを繰り広げるとともに、各市町村の選手交流を図ることができ、目的が達成できたものと思います。

参加した皆様方のご協力により無事終了できましたことを心から感謝申し上げます。

なお、大会の結果は下表のとおりです。

種目	優勝	準優勝	第3位	敢闘賞
クロッケー	おみたまにじいるクラブ (小美玉市)	大子 A 組 (大子町)	鶴沼 (石岡市)	東獺穴シニアクラブ (牛久市)
ゲートボール	牛久 (牛久市)	松平松風会 (常陸太田市)	守谷 (守谷市)	緑ヶ丘白梅会 (東海村)
ペタンク	中居白鳥会 (鉾田市)	柳が丘クラブ C (ひたちなか市)	高須コスモス会 (取手市)	寺具元気クラブ (つくば市)
グラウンド ・ゴルフ	優勝 平松 俊男 (那珂市)	準優勝 稲葉 明信 (鹿嶋市)	第3位 海老澤 次男 (筑西市)	第4位 慶野 勇 (つくば市)
	第5位 小野 静枝 (鉾田市)	第6位 中川 恵美 (利根町)		
ワナゲ	冷水 A チーム (鉾田市)	茶屋町寿会 (古河市)	青葉台翠会 (日立市)	城南クラブ (結城市)

※ねんりんぴっく愛顔のえひめ 2023（令和5年10月28日（土）～10月31日（火））への派遣

実施種目になっている、ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフについて、太枠で囲んだ団体および選手を派遣することに決定しました。



開会式主催者挨拶



選手宣誓



ワナゲの試合

第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会～ねんりんピックかながわ 2022～ 茨城県のシニア代表 148 名、神奈川の地で大健闘！

全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）は、昭和 63 年から開催されている 60 歳以上のシニアが出場するスポーツ等の全国大会です。令和 2 年、令和 3 年は、新型コロナウイルスの影響により開催が中止となり、今大会は実に 3 年ぶりの開催！感染症対策を徹底したうえで、令和 4 年 11 月 12 日（土）～ 15 日（火）まで、神奈川県内 26 市町で交流大会・イベントが開催され、延べ約 61 万人が参加、交流大会では過去最多の 32 種目で熱戦が繰り広げられました。

茨城県からは、各種目団体から推薦を受けた選手・監督 148 名(21 種目 23 チーム)の選手団が出場、13 日（一部 12 日）から始まった交流大会では、神奈川の地で全国の仲間と交流を深めるとともに、どの種目においても大健闘をいたしました。

その中でも、見事優勝の栄冠を得たのが、団体戦ではダンススポーツ、個人戦ではダンススポーツの初見甚選手・初見智恵子選手ペア、水泳の若松眞知子選手です。また、準優勝に輝いたのは団体戦では将棋、個人戦では水泳の滝本隆博選手です。そのほかの競技につきましても、第 3 位、優秀賞を得るなど、本県選手団は今年も輝かしい成績を収めました。

なお、次回の開催県は愛媛県で、ねんりんピック^{えがお}愛媛のえひめ 2023 です。茨城県選手団が愛媛の地で、全国の皆様と友好を深め大活躍することが、今から楽しみです。



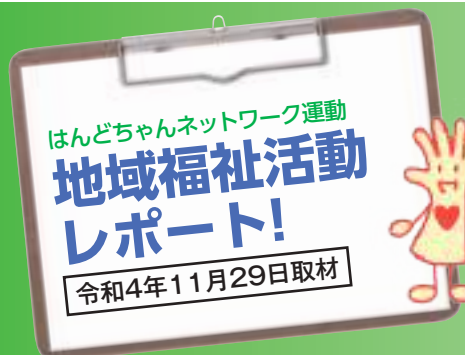
茨城県選手団入場
旗手は水木 勝 氏（ソフトボール）



団体優勝した
ダンススポーツの選手の皆さん



横浜アリーナでの総合開会式



しもつま外国人支援ネットワークTOMODACHI

代表 小笠原 紀子さん

「みんなの居場所づくりから、交流と共生が生まれる」

始まりは全国に暮らす スリランカ人の支援から

小笠原紀子さんは、常総市で飲食店を営んでいた当時、個人でスリランカ人の支援を10年ほど行っていました。個人での活動に限界を感じていた頃、県が日本語教室の空白地に日本語教室をつくることになり、下妻市もその対象となり小笠原さんは日本語教室を始めました。その時にボランティアの講師として参加した方の中に、ブラジルに住んでいた女性と JICA のスタッフとしてボリビアで活動していた女性がいました。「自分たちが外国でお世話になったので、何か恩返しができないか」と考えていて、困っている外国人のために活動しようと3人で「しもつま外国人支援ネットワーク TOMODACHI」を立ち上げました。



▲お茶 NOMA の皆さん

地域と外国人をつなぐ TOMODACHI の活動

2021年4月の設立当初から取り組んでいるのは、関係各所と外国人をつなぐことです。役所での手続きや通院、出産、亡くなっ

た後のことまで、生活全般の困りごとに対応し関係各所と調整します。「ありがたいと言われたり、笑顔が見られるとやりがいを感じる」という小笠原さんです。TOMODACHI のメンバーは現在6人、活動も広がり、お茶 NOMA（みんなの居場所・子ども食堂）、日本語教室、TOMODACHI サロン（生活サポート）、たび茶（世界の話とお茶会）、多文化子育てサロン ma-n-ma（子育て相談）を展開しています。「外国人のサポートだけでなく、日本人が外国人とどう付き合えばいいかを日本の方に教えていきたい」と話します。

みんなが集まれる

「お茶 NOMA」をオープン

「お茶 NOMA」をオープンしたのは2021年5月。下妻市のまちづくり市民グループ「しもつま3高」が運営する「かふえまる Cafe&Studio」に「お茶 NOMA」はあり、一人で食事をしている子どもたちや高齢者、日本の友達が欲しい外国人など多様な人たちの「食事の場、ふれあいの場、憩いの場、交流の場」となっています。毎週月曜日から金曜日の午前11時から午後8時まで営業。子育て中のお母さんや、地域で活動する高齢者の方など30人がボランティア登録しており、常時そのうちの4～5人が、食事やデザートづくりを担当。利用する中学生や高校生もボランティアとして手伝ってくれています。「ボランティアもいろんな年代の方が入ってくれて、いろんな生活の知恵を教えてもらいながら過ごせるといいと思います。食事は一つのアイテムであって、国籍や年齢を超えたみんなの居場所づくりをしたくて始めたのです」とのこと。



▲食欲をそそる「おかえり定食」

「おかえり定食」には 「未来チケット」付き

提供している昼食の「おかえり定食」は1,000円。定食にはチケットが1枚、1食分付いていて、そのチケットで子どもたちが夕方にご飯を食べます（未来チケットのみの購入もできる）。大人が子どものために1枚、1食分を払ってくれる仕組みで、購入者にはチケットにメッセージを記入してもらいます。子どもたちもチケットを手にとすることで、誰かが自分たちの食事代を払ってくれている、という意識が生まれるとのこと。「子どもたちの成長に大切な食事を直接支援することで、子どもたちの明るい未来に繋げるための未来チケットなのです」と小笠原さん。チケットの利用者は、夜まで一人で母親の帰りを待つ子どもや外国人の子どもたちで1日約30人。高校3年生まで利用できます。「子ども食堂」というと貧困のイメージがありますが、そうではなく、地域の困りごとをみんなで解決する場とか、孤食の解消になればいいと思います。日本人も外国人もみんなで食べた方がおいしいし、昔そういう人たちがいたと、子どもたちが大きくなった時に思い出してくれたら嬉しいです」という小笠原さんには、地域や家庭で孤立する人をなくするという活動中心の生活に、その強い思いが感じられました。

「外国人が日本の中に当たり前のようにいる社会をつくりたい」という小笠原さん。「外

国人と日本人はこれからどんどん共生していかなければならないのだから、食堂もその一つですが、多様な人が集まれる場所をもっと増やしていきたいです。ここまで来られない子どもたちもいるので、各小学校区に小さくてもいいので居場所をつくれたらいいと考えています」と話します。

日本人と外国人が 共生するために活動を続けたい

小笠原さんは、外国人の就労支援にも取り組んでいます。「きちんとした会社で外国人を繋げたいという思いがあり、外国人に日本語を教えたり地域とつながる役割を果たす登録支援機構を始めました。入国管理局に自分で書類が出せるように研修も受けました」と意欲的です。まずはお互いを知ること、そのための居場所づくりを始め、そこからさらに活動は広がり続けています。

※しもつま外国人支援ネットワーク TOMODACHI は「令和4年度茨城県ボランティア・市民活動推進事業助成金」交付団体です。



▲代表の小笠原紀子さん

ボランティア・ 市民活動フォーラム 2023

小笠原 紀子 さんが出演します！

令和5年3月1日
ホテルレイクビュー水戸

ふくしまっぴい人。



あ く つ し ゅ ん
阿久津 俊さん

社会福祉法人 東海村社会福祉協議会
生活支援課 生活支援ネットワーク係 社会福祉士



東海村社会福祉協議会の生活支援ネットワーク係、阿久津俊さんはこの部署で住民からの様々な相談に対応しています。「相談内容は、介護・障害・子ども・困窮など多岐にわたり、ありとあらゆる相談を受け止め問題解決のお手伝いをしています。増加が顕著な引きこもりやヤングケアラーといった、なかなか自ら声を上げられない方に対して、積極的に声をかけさせていただいて相談につながるような取り組みをしています」と阿久津さん。

阿久津さんが福祉の仕事に就いたきっかけは、祖父が介護を必要な状態になったことから。家族が介護をする様子を見ていて福祉に興味を持ち、茨城キリスト教大学の心理福祉学科に進学、「ゼミの先生が、すごく熱心に福祉の面白さだと魅力を伝えてくれて、自分も福祉の分野で人のために役立つ仕事がしたいと思いました」と振り返ります。

少しずつ良い方向に進んでいくと嬉しい

東海村社協の仕事に就いて感じたことは、住民の福祉への関心の高さだと言います。「大学では福祉を地域におろしていこうと学びましたが、実際にはなかなか難しいことです。しかし東海村では、学習支援ボランティアや地域支援ボランティアが活動していますし、皆さん隣の方を気にかけて遠まきの見守りをしてくださっているの、こんなに福祉が根付いていることにある意味驚きを感じました」。

仕事のやりがいについてたずねると、「私の仕事は相談にのることが多いので、すぐに解決することではないのですが、少しずつ良い方向に進んでいくなかで、感謝の言葉をいただいたりするとやりがいを感じます。例えば引きこもりやヤングケ

人のために 役立つ仕事がしたいと思った。



アラーは、複合的な問題を抱えていたり、なかなか難しい課題がある方もいるので、そのような方たちと関わるケースでは、まず接点を持つことが大事で、何回も会いに行きます。『もう来るんじゃないよ』と言われてもめげずに、あなたのことを気にかけたいというメッセージを届けさせてもらいながら関係性をつくっていきます。だんだん打ち解けて来ると嬉しいし、受け止めてもらえるとわかってくれて相談までこぎつけると、めげずに一生懸命関わってよかったと思います」とのことでした。



新たな道を切り開いてコロナ禍にも対応

複合的な問題はすぐに解決できないこともあり、もどかしさを感じるという阿久津さん。「ある一点の問題、困窮だけを解決しても、そのご家庭を覗くと例えば障害を抱えるお子さんがいたり、他の問題が顕在化してきたりするところに難しさを感じます」と言います。こういう場合は、組織内でカバーしあったり、村内外の関係機関と協力しながら、問題解決に取り組んでいく、お互いにカバーしあえる関係性ができているそうです。また、解決できなくてもつながり続けることを意識しています。

阿久津さんにとって福祉の仕事の魅力とは、「社協ならではになるのですが、制度の狭間とか、なかなか法定化されていない部分について新たな道を切り開いて対応できることが魅力です。コロナ禍であっても、住民同士の人と人とのつながりを絶やさないために何ができるかを考え、社協ならではの即応性で企画を考えます。マスク不足の時にはボランティアさんの手づくりにより、医療従事者や高齢者施設にマスクをお届けする事業を実施しました。緊急事態宣言の際には飲食店や、子育て世代をサポートするテイクアウト・デリバリー



券の企画を実施しました」。阿久津さんの今後の目標は、障害のある方の相談に対応していくために精神保健福祉士の資格を取得すること。また現在の部署で学んだことを活用しながら、他の係で仕事をしてみたいということです。

人と関わるのが好きなら、まずチャレンジを

福祉の仕事を目指す方への先輩としてのメッセージは、「福祉の仕事は人と関わる仕事であるので、人と関わるのが好きな人に向いていると思います。子どもでも高齢者でも、お話をさせていただく中で学ばせてもらっていることが多いので、そういったところに新たな発見があったりもします。それが魅力であり楽しみなので、難しいことを考えずに、まずはチャレンジして欲しいと思います」とのこと。住民と一緒に東海村を盛り上げ、支えあっていきたいという、地域の人より良い日々を願い前進する「きらり人。」でした。



令和4年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	[新設]特定感染症重点プラン
保険金の種類				
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円	550円

商品パンフレットは
コチラ(ふくしの保険
ホームページ)

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

INFORMATION

募集 社会福祉事業従事者研修のご案内

社会福祉事業従事者研修とは…

茨城県内の社会福祉事業に従事している役職員の方を対象として、年間40本以上の研修を実施しています。新任、中堅、チームリーダー、管理代表者の4段階の階層に分けた「階層別研修」、リスクマネジメント、ハラスメント、BCP等、その時に必要な専門的スキルを習得するための「専門研修」、他機関・団体と連携した「特別研修」の3種類の研修です。

現在登録している事業所は1,500カ所以上にのぼり、登録後、研修システムから申し込むことができます。詳細は、「茨城県社協 研修システム」で検索もしくは、下記QRコードからアクセスしてください。

◎令和4年度の今後の研修

- ✓ 決算実務講座 (録画配信研修) 配信期間 1/31 ~ 3/25
- ✓ 社会福祉施設等給食担当職員研修 (録画配信研修) 配信期間 2/3 ~ 3/15
- ✓ 社会福祉施設等管理・代表者研修 (ライブ配信研修) 2/17

令和5年度の研修は2月に入りましたら、研修システムのトップページでご案内します。

問 福祉人材・研修部 TEL: 029-244-3755



▲研修システム
HP

令和4年度 福祉サービス苦情解決研修会開催のお知らせ

茨城県運営適正化委員会では、福祉サービスの利用者等からの苦情に適切に対応するため、事業所の福祉サービス苦情解決責任者等を対象とした、苦情の現状や解決方法についての研修会を開催しています。

なお、研修会の詳細や参加申込方法につきましては、本会ホームページでご案内いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

問 福祉事業部 TEL: 029-244-3147

新型コロナウイルス感染症の影響で 生活福祉資金特例貸付を利用されている方へお知らせ

貸付を受けてから償還(返済)が終わるまでの間に住所が変わった場合、住所変更の届け出が必要です。借入申込手続きを行った市町村社会福祉協議会又は茨城県社会福祉協議会にご連絡をお願いします。

また、償還(返済)期間中に予定どおりの償還(返済)が難しい方は、状況をお伺いいたしますので、早めにお住いの市町村社会福祉協議会にご相談ください。

問 生活支援部 特例貸付コールセンター TEL: 029-297-6526

茨城県社会福祉法人経営者協議会入会のご案内

茨城県社会福祉法人経営者協議会は、県内における社会福祉施設の経営主体である社会福祉法人等の相互啓発と連絡協調を図り、社会福祉法人等の健全な発達と社会福祉事業の発展に寄与することを目的とする団体です。

詳細につきましては、ホームページでご案内しております。ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問合せください。

問 〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL029-350-8585 FAX029-241-1434
ホームページ <https://www.ibaraki-welfare.or.jp/keieikyo/>



わかち合おうみんなの善意<令和4年7月～令和4年9月善意金等の預託と払い出し状況>(敬称略)

善意金

預託者名	金額(円)
(株) ライズ	1,296
野木 利三郎	100,000
合計	101,296

交通遺児福祉基金

預託者名	金額(円)
(一財) 関東陸運振興センター	1,000,000
合計	1,000,000

善意品

預託者名	善意品	払出先名
いばらきコープ生活協同組合	粉ミルク 2缶 子ども用紙おむつ 51個 大人用紙おむつ 35個 大人用尿取りパッド 19個	小美玉市社会福祉協議会 県内社会福祉施設
ENEOS ホールディングス(株)	第52回 ENEOS 童話作品集 「童話の花束(その52)」 50冊	県内社会福祉施設
天台宗茨城仏教青年会	玄米等 875kg 食料品・日用品 1,332点	龍ヶ崎市、つくば市、桜川市、行方市、 茨城町、八千代町の各社会福祉協議会
(株) セブン-イレブン・ジャパン	食料品・日用品(フードドライブ) 食料品・日用品	石岡市社会福祉協議会 行方市、大洗町、桜川市、常陸大宮市、 神栖市の各社会福祉協議会

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名		
茨城労働局 労災補償課	(一社) 東京都トラック協会練馬支部	茨城県水戸県税事務所
中村 美和子	田原 純子	常陽ボランティア倶楽部
鈴木 きよ	茨城平和大使協議会	高崎 美代子
(株) 三福総合不動産	(福) 克仁会 恵苑	リコージャパン(株) 茨城支社
茨城県福祉部部長寿福祉課		
石岡市、茨城町、古河市、小美玉市、笠間市、牛久市、北茨城市、阿見町、土浦市、取手市、守谷市、日立市、筑西市、 神栖市、桜川市の各社会福祉協議会		



(一財) 関東陸運振興センター



(株) セブン-イレブン・ジャパン



天台宗茨城仏教青年会



いばらきの社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

発行者／社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

〒310-8586 茨城県水戸市千波町1918

TEL:029-241-1133(代)

FAX:029-241-1434

ホームページ <https://www.ibaraki-welfare.or.jp>Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo>E-Mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

※本誌が不要な方は恐れ入りますがご連絡ください。送付を停止させていただきます。

なお、ホームページからダウンロードしてご覧いただくこともできます。